

## 7 - 10 駿河湾地域における測量データ訂正の影響

### Effect of the Revision of Survey Data to the Coming Tokai Earthquake

地震予知連絡会事務局  
Secretariat, CCEP

駿河湾を含む地域における測量結果の訂正<sup>1)</sup>に関し、昭和54年8月20日の第47回地震予知連絡会において検討された結果は、次のとおりである。

訂正されたデータによると、駿河湾周辺の6つの一等三角点を結んでできる三角形のうち、伊豆半島にある達摩山及び岩科村を2つの頂点とし、駿河湾西岸の竜爪山又は坂部村を他の1つの頂点とする2つの三角形において、最大せん断歪の値が訂正前にくらべてかなり小さくなっているが、駿河湾北・西部では訂正の影響をあまり受けておらず、かなり大きな量がそのまま残っている。これらの訂正の及ぼす影響については、来るべき東海地震は低角逆断層型と想定されており、この型の地震の場合には、水平歪のうち断層（駿河トラフ）の走向に直角な方向の伸縮が問題となろう。駿河湾を横断する達摩山－竜爪山及び岩科村－坂部村の2測線は駿河トラフにほぼ直交しているが、この方向の伸縮量は訂正によってあまり変わらず、1884年以来、約1mの縮みとなっている。また、上下変動については、明治以来、駿河湾西岸が40cm以上の沈下量を示している。

これらの事実から、昭和51年に連絡会から出された統一見解を変更する必要はないという結論に達したものである。

#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻調査部：駿河湾地域の歪計算結果の訂正について、連絡会報，24（1980），286.